

演目一覧

<p><small>いぬやままつりやまぎょうじ くまのちようぐみ すみよしだい すみよし・はくらくてん</small> 犬山祭車山行事 熊野町組 住吉臺 からくり「住吉・白楽天」(犬山市)</p>	<p>一般社団法人犬山祭保存会</p>
<p>能楽の「住吉・白楽天」から物語をとったからくり由来しているもので、「唐の白楽天と老漁夫の知恵問答」が繰り広げられます。平安時代に玄宗皇帝の使者として唐の国から白楽天が民情視察のために日本へ渡ってきます。そして日本の海神である住吉明神と問答します。</p> <p>白楽天は中国にはすばらしい漢詩があると披露し、住吉は日本には和歌があると応じます。白楽天は日本の文化の質の高さに驚き帰っていくという国威発揚の内容です。</p> <p>からくりでは、白楽天はお社頭<small>しゃとう</small>に変身し、住吉は神橋<small>しんきょう</small>に変身します。どちらも見事な変わり身の速さが見どころとなっています。変身からくりの技術は、古来からの折り紙の技法を応用して現代のものをコンパクトに縮める技術の源流とも言われています。</p>	
<p><small>すなりこてきほぞんかい み こだいこ</small> 須成鼓笛保存会 神子太鼓 (蟹江町)</p>	<p>須成鼓笛保存会</p>
<p>須成地区の氏神である富吉建速神社・八劔社の祭礼として行われる須成祭は、400年以上の歴史があるとされています。8月第1土曜日に「宵祭」、翌日曜日に「朝祭」が蟹江川を舞台に行われます。一連の行事は平成24(2012)年に重要無形民俗文化財、平成28(2016)年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。</p> <p>今回演奏する曲は、須成祭りの宵祭、朝祭において、須成神社境内で奉納する曲打太鼓です。バチを回転させたり、投げたりしながら叩く曲で、アクロバティックなバチさばきと威勢のいい音色が特徴です。「神子太鼓(前)」、「しぐるま」、「森津」、「四ツ節」、「神子太鼓(後)」の5曲を披露します。力強い演奏を是非お聞き下さい。</p>	
<p><small>にしやまんざい</small> 西山万歳 (豊田市)</p>	<p>西山万歳保存会</p>
<p>西山万歳の始まりは、元亀元(1570)年ごろ知立神社の宮司の娘〔お万の方〕が、徳川家康の侍女になってから、氏子百姓総代で西山(現在の西岡町)に住んでいた堤村の庄屋中野万五郎<small>しょうやなかのまんごろう</small>が毎年正月に万歳師を刈谷藩の江戸屋敷に送り、新春を寿<small>ことほ</small>ぎ奉祝の舞をしたのが、始まりと伝えられています。西山万歳保存会は、平成4(1992)年に西岡町区民会館の竣工式に合わせて結成され、現在は7名で活動しています。地元の堤小学校で児童の指導に積極的に参加し、伝統芸能の継承に努力しています。また、平成17(2005)年には世界の祭り『愛知万博』の大舞台にも出演することができました。</p> <p>現在の課題は、後継者の育成です。一人でも多くの方に仲間になっていただき、これからも歩み続けつつ、いつまでも西山万歳を継承して行く所存です。</p>	

おおじしこじし まい

大獅子小獅子の舞 (半田市)

はんだしならわだいよんくし しほぞんかい
半田市成岩第四区獅子保存会

成岩の氏神である成岩神社祭礼に奉納される神楽獅子で、「大獅子の舞」と「小獅子の舞」の2つの対照的な性格の舞で構成されていて、ともに江戸時代中期に行われていた記録が残っています。

「大獅子の舞」は、おおらかで優雅な舞で、乱獅子、花獅子、鳶獅子、剣獅子の4曲が伝承されています。大獅子には、神の使いである白鷄の冠を被った「ささらすりの童子」が寄り添います。「小獅子の舞」は、急テンポな曲に乗り、龍が地をのたうつ姿や雲を呼んで天に昇らんとする姿を演じます。

その姿が現すように、この舞には雨乞いの祈りが込められています。脇役として、おかめ・ひよっとこの「面能連中」が登場し、小獅子の舞を引き立てます。



ぼう て
棒の手 (設楽町)

かいつ だぼう てほぞんかい
貝津田棒の手保存会

棒の手は、永保3(1083)年に武術としてでき、天文12(1543)年には、農民が技をみがき、次々と流派ができました。起倒流は元亀4(1573)年にあみ出され(尾張)、豊田市をへて貝津田に明治13(1880)年に伝承されました。愛知県には棒の手が多くありますが、設楽町は、東三河で唯一、棒の手を行っているところです。



としまだいねんぶつ

豊島大念仏おどり (田原市)

豊島大念仏保存会

大念仏(念仏踊り)は、初盆の霊を供養するものです。元々は、この地域から遠州へ茶摘みに行った際、当時、遠州で行われていた念仏踊りを見聞きし、行われるようになったとされています。かつて、お盆に行われていた豊島大念仏は、初盆の各家を回っていましたが、現在は地元の光福寺と地区の集会所で行われています。

念仏供養では、念仏や歌枕から始まり、放下(子供の花笠)、棒踊り、返し踊り、跳ね踊りが演じられます。念仏踊りは田原市でも広く行われてきましたが、昭和中期頃にはほとんど途切れてしまい、現在残っているのは豊島町のみです。

